



県史跡

一宮城跡

散策マップ



いちのみやじょうあと

一宮城跡について

昭和 29 年 8 月 6 日 県史跡指定

所在 徳島県徳島市一宮町西丁ほか

一宮城跡は徳島市の南西部、鮎喰川^{あくいがわ}右岸にある
東竜王山系^{ひがしりゅうおうさんけい}の尾根先端に位置する中世山城です。

南北朝時代の延元 3 年 (1338) に小笠原長宗^{おがさわらながむね}
によって築城されたと伝えられ、その後天正 7 年
(1579) に土佐の長宗我部元親^{ちようそかべもとちか}が侵攻するまで、
小笠原氏の末裔^{まつえい}である一宮氏が代々居城としてい
ました。

一宮城跡は眼下に鮎喰川を望み、また背後は
急峻な山地^{きゅうしゅん}に囲まれた天然の要害です。標高 144
m の本丸^{ほんまる}を中心に、明神丸^{みょうじんまる}、才蔵丸^{さいぞうまる}、小倉丸^{おぐらまる}、
椎丸^{しいのまる}、水ノ手丸^{みずのてまる}などの曲輪^{くるわ}やそれらを防御する
塹壕^{たてほり}、土塁^{どるい}などが東西 800m、南北 500m の
範囲の尾根筋上に配置されており、徳島県最大の
規模と堅牢さを誇ります。なお、本丸から北東へ
500m の平地部^{けんろう}にある寄神社^{よりじんじや}周辺には、御殿居^{おどい}と
よばれる居館跡推定地が広がっています。

天正 13 年 (1585) には蜂須賀家政^{はちすかいえまさ}が入城し、
阿波支配の拠点として大改修を開始したものの、
翌年徳島城に本拠を移すこととなります。その後
一宮城は阿波九城^{あわくじょう}のひとつとなりますが、寛永 15
年 (1638) に 300 年の歴史を閉じ、廃城となり
ます。

現在、草刈りなどの環境整備は一宮城跡保勝会^{ほしょうかい}
の協力のもと、地域の皆さんによって行われています。

一宮城跡へのアクセス



公共交通機関で



○ JR 徳島駅から、徳島バス天の原西線・一宮線で約 40 分

「一の宮札所前」停留所からすぐ



お車で



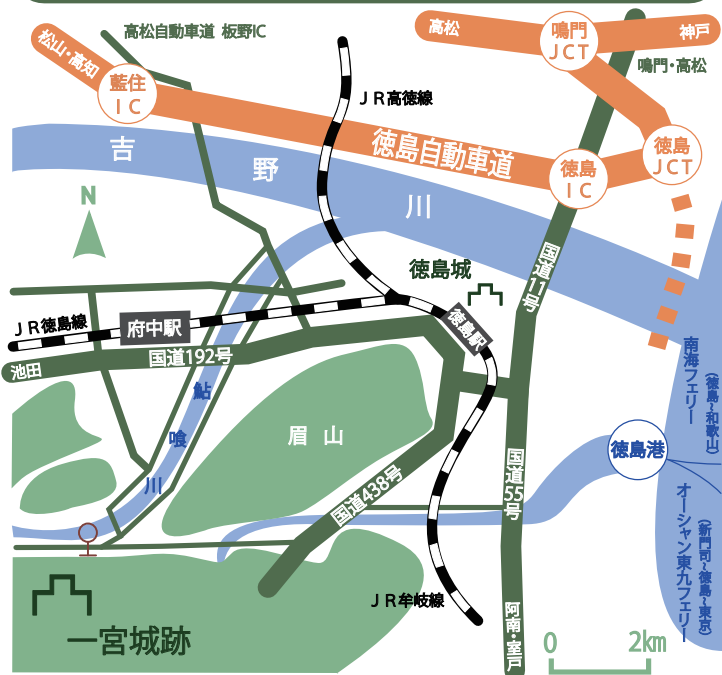
○ 神戸淡路鳴門自動車道または徳島自動車道「徳島 IC」

から約 40 分 (15 km)

○ 高松自動車道「板野 IC」から約 40 分 (15 km)

○ 徳島自動車道「藍住 IC」から約 35 分 (12km)

案内図



発行：徳島市教育委員会

連絡先：徳島市教育委員会社会教育課 TEL (088)621-5419